

2021年12月14日
作成者 渡辺洋一郎

岡本工作機械製作所（東証2部・6125）

- ◆ 工作機械と半導体関連装置を扱う。新株予約権を発行。
- ◆ 21/4～9期の受注高は約2.8倍と大幅伸長。半導体関連装置は、複数の顧客による大口受注が貢献した。今期受注高は600億円超も期待できよう。
- ◆ 増収効果と利益率の高い半導体関連装置の売上比率の上昇により来期営業利益は+30%を予想する。潜在株式数を考慮し、株価の評価基準を引下げた。

株価レーティング
A→B+

目標株価
6,000円
(前回8,050円)

主要指標

株価(21/12/13)	5,020円
売買単位	100株
発行済株式数	4,718千株
PER(22/3期予)	9.2倍
PBR(21/3期)	1.3倍
ROE(21/3期)	10.4%
配当利回り(22/3期予)	2.4%
52週高値(21/9/9)	7,200円
52週安値(20/12/28)	2,216円

売上高構成比

工作機械	69%
半導体関連装置	31%

◆ 新株予約権を発行

1926年創業。工作機械と半導体関連装置を製造・販売。工作機械は研削盤を主力とし、平面研削盤では国内高シェア。半導体関連装置は、ウェーハ生産用のポリッシュ装置などを手掛ける。半導体関連装置は半導体需要拡大に伴うウェーハメーカーの設備投資拡大などの見通しを背景に、振幅はあるだろうが、堅調な受注が期待されよう。9月10日に第三者割当による行使価額修正条項付第1回新株予約権を発行することが公表された。潜在株式数70万株は、発行済株式総数に対し14.8%となる。行使により発行される普通株式は同社の自己株式を充当する。行使可能期間は21年9月28日～24年9月27日。11月末段階で既に48%が行使された。資金使途は生産設備の新設・更新など。

◆ 21/4～9期の受注高は約2.8倍と大幅伸長

21/4～9期は売上高172億円、営業利益14.8億円（収益認識に関する会計基準等を今期から適用するため、前期比の記載はなし）。受注高は362億円（+180%）と大幅に伸長した。工作機械は+102%、半導体関連装置は+311%だった。半導体関連装置は、複数の顧客による大口受注が貢献した。受注残高は414億円（+201%）と大きく膨らんだ。

◆ 今期受注高は600億円超も期待できよう

今22/3期会社計画の売上高340億円、営業利益27.5億円は据置かれた。当社は売上高350億円、営業利益33億円を予想する。9月7日の予想に対し、営業利益は3億円上方修正した。収益性が高い半導体関連装置の売上構成比が高まることで利益率が上昇すると考えた。受注残高は豊富だが、今期以降に納入予定の案件が多くを占めている模様から、売上は前回予想を据置いた。受注高は21/3期の実績358億円、前回の当社予想400億円を大きく上回る、600億円超も期待できよう。工作機械市場は拡大基調が続くだろう。また、業界団体の資料から推察すると、半導体用シリコンウェーハの出荷面積は2021年7～9月に四半期で過去最高を更新した模様であり、ウェーハメーカーの設備投資意欲は高い状況が続くと思われる。

◆ 潜在株式数を考慮し、株価の評価基準を引下げた

来23/3期は売上高380億円（+9%）、営業利益43億円（+30%）を予想する。営業利益は前回から1億円上方修正した。22/3期末受注残高は400億円超と豊富な状況を見込んでおり、売上増に貢献しよう。増収効果と利益率の高い半導体関連装置の売上比率上昇により大幅増益が期待される。

目標株価は来期予想PER約8倍の6,000円。前回は同約10倍の8,050円としたが、潜在株式数を考慮し、評価基準を引下げた。目標株価の引下げに伴い、株価レーティングも「A」→「B+」へ引下げる。

業績推移

単位：百万円、1株利益・配当は円

連結	売上高	営業利益	経常利益	利益	1株利益	1株配当
20/3期	34,305	2,589	2,420	1,582	395.3	100
21/3期	30,372	1,905	1,869	1,458	364.4	80
22/3期予	35,000	3,300	3,250	2,370	546.6	120
23/3期予	38,000	4,300	4,250	3,100	714.9	120

予：当社予想

最終ページの重要な注意事項（リスクについて、手数料等の費用について）及び投資判断をよくお読み下さるようお願いいたします。

商号等／水戸証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第181号

加入協会／日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

（審査部審査番号2112068号）

このレポートは投資判断の参考となる情報提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

投資判断

株価レーティングおよび目標株価は当該銘柄の今後6カ月間における投資判断です。「A」は「買い」、「B+」は「やや強気」、「B」は「中立」、「B-」は「やや弱気」、「C」は「売り」、「NR」は株価レーティングをしない場合です。なお本文中の「長期」は2年超5年以内、「中期」は6カ月超2年以内、「短期」は6カ月以内を指しています。

「重要な注意事項」

リスクについて

- ・ 国内外の金融商品取引所に上場されている有価証券（以下「上場有価証券等」といいます。）の売買にあたっては、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動や、投資信託、投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等の裏付けとなっている株式、債券、投資信託、不動産、商品、カバードワラント等（以下「裏付け資産」といいます。）の価格や評価額の変動に伴い、上場有価証券等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・ 上場有価証券等の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合、上場有価証券等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・ 上場有価証券等のうち、他の種類株式、社債、新株予約権その他の財産に転換される（できる）旨の条件または権利が付されている場合において、当該財産の価格や評価額の変動や、当該財産の発行者の業務や財産の状況の変化に伴い、上場有価証券等の価格が変動することや、転換後の当該財産の価格や評価額が当初購入金額を下回ることによって損失が生じるおそれがあります。
- ・ また、新株予約権、取得請求権が付された上場有価証券等については、これらの権利を行使できる期間に制限がありますのでご注意ください。
- ・ 新規公開株式、新規公開の投資証券についても、上記と同様のリスクがあります。

手数料等の費用について

- I 国内の金融商品取引所に上場されている有価証券等
 - ・ 国内上場有価証券等(転換社債型新株予約権付社債を除く)の売買にあたっては、約定代金に対して最大1.265%（税込）〔手数料金額が2,750円（税込）に満たない場合には、2,750円〕の売買手数料をいただきます。
- II 外国金融商品市場等に上場されている株式等
 - ・ 外国金融商品市場等に上場されている株券等の国内取次ぎ手数料として、海外精算代金（円換算金額）に対して最大1.265%（税込）〔手数料金額が2,750円（税込）に満たない場合には、2,750円〕の売買手数料をいただきます。外国株券等の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における売買手数料および租税公課その他の賦課金が加減されます。当該諸費用は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。また外国株券等の国内店頭取引にあたっては、所定の手数料相当額をご負担いただく場合があります。外国金融商品市場等に上場されている株券等は価格変動および為替の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- III その他
 - ・ 上場有価証券等を募集等により取得する場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。
 - ・ 上場有価証券等を当社との相対取引により購入する場合は、お客さまと当社が協議のうえ決定した手数料をいただきます。

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的とし、信頼できる各種データに基づき作成したものです。正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見・予測等は、作成時点における弊社判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。水戸証券もしくは水戸証券の役職員が、記載されている証券について、自己売買または委託取引を行うことがあります。水戸証券は、記載されている企業に対して、引き受け等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。なお、投資にあたっては、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、投資信託説明書（交付目論見書）や目論見書補完書面等をよくお読みください。

最終ページの重要な注意事項（リスクについて、手数料等の費用について）及び投資判断をよくお読み下さるようお願いいたします。

商号等／水戸証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第181号

加入協会／日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

（審査部審査番号2112068号）